

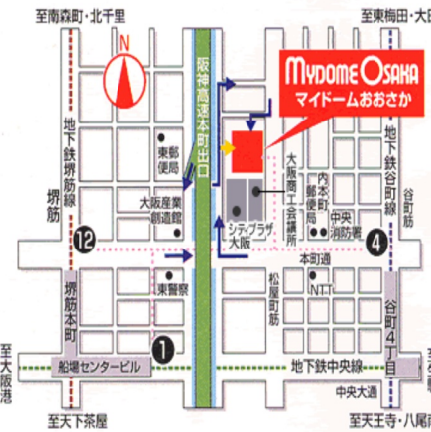
波紋

創刊 1985年(昭和60年)7月

2015年8月
No. 362号

文紙MESSE2015に出展します！！

2015年8月6日(木)7日(金)の2日間で開催される日本最大級の文具・紙製品の見本市である、「文紙MESSE2015」に出展することになりました！
出展する商品は、テーブルマットとマウス対応デスクマットです。
会場は、大阪のマイドームおおさかです。
是非弊社ブースへお立ち寄りください！！



語学も継続が大事

社長 森 直樹



先月、今月と中国からお客さんが来日さ
れ、相変わらず拙い中国語でのコミュニケ
ションで四苦八苦しております。商談で
品や資料が目の前にあるときは話が進め
やすくて話の流れる感じが読めるとき
ある程度話すが、予測がつかないとき
題に飛ぶかよって測がつかないとき
す。理合よる時、有れば聞き返り
と。頭のなかの時、辞書に聞き返り
分の頭の中の時、辞書に聞き返り
たらない言葉も多、その時は聞き返り
ぱり言葉も多、その時は聞き返り
ることも多い。勉強しなると、
ネの情、新しい技術、
新の情、新しい技術、
せんの情報、新しい技術、
で、脳の冷たい汗をかき、
然、使わなれど、
つ、使わなれど、
え、使わなれど、
機、使わなれど、
年、使わなれど、
出先にもムダにかき、
磨いてくる自分です。イメ
磨いてくる自分です。イメ

家族旅行

岩間 正美 (森松産業)



先日、妻と息子夫婦、孫の5人で東京見物に一泊でいってきました。一月前にホテルを予約し、観光ガイドの本を購入、どこへ何をしに行くかあれこれと相談し、とりあえず一日目の行先は、お台場のフジテレビ、孫がゴーカートに乗りたいたいとのことで、お台場の車のテーマパーク「MEGA WEB」へ行くことに、二日目は高尾山トリックアート美術館へ寄って帰ってくるというコースで決定。愛車プリウスに5人が乗車、朝5時に家を出て東名高速で東京へ向かうが、途中いろんなSAでB級グルメを堪能、お土産探し。普段出かけることのない家族は時間を掛けてゆつくり見て回る。また、富士山も見ることができ孫は写真を撮りまくり。10時頃に東京のホテルへ到着し、車と荷物を預け電車にて移動する。フジテレビを見学し、ゴーカートに乗り「MEGA WEB」へ行くが、3時間待ちというところで諦め、水上バスで浅草へ向かうことにする。目的の水上バス（ヒミコ）が1時間待ちで皆は普通の水上バスで移動すればと言いますが、ゴーカートに乗れなかった孫はヒミコに乗りたそうな顔。せつかく来たのだからと1時間待って孫の念願のヒミコに乗り浅草へ。スカイツリーへ着き展望台へ上がるのに整理券をもらう。ここでも2時間くらいかかりそうとのこと、お土産だけを買ってホテルへもどる。夜の食事もガイドブックで探していたが、妻の体調が悪くなりホテル近くの焼肉屋で夕食をとることになる。翌朝ホテルをゆつくり出発し、妻のリクエストである「高尾山トリックアート美術館」へ向かう。テレビでよく紹介されるような目の錯覚を利用したアートを見学、体験する。東京往復を私一人で運転し、疲れはしたが10年ぶりのお泊り家族旅行はいい旅行になったと思います。これからは2〜3年に一回くらいは家族旅行できればと思います。



※ゴーカートに乗れなかった孫からは、鈴鹿サーキットに連れて行ってとお願いされています。

関ヶ原ウオーランド

伊藤 雅典 (森松産業)



先日、関ヶ原ウオーランドへ行ってきました。入場料は500円で、アクセスは関ヶ原インター下車5分と気軽に往ける距離です。ここは関ヶ原の戦いを、200体以上の戦国武将のコンクリート像で再現しています。これは、東軍、西軍の陣地を史実に基づいて再現したものであり、旗、陣幕も当時のものを再現したものだそうです。コンクリート像は、徳川家康、石田三成、大谷吉継、小早川秀秋、湯浅五助などの武将もいますが、多くは足軽、鉄砲隊などです。園内に入るとコンクリート像の多さ・リアルさに異様な感じを受けます。日本珍スポット100景にも選ばれており、どちらかと言うと奇妙な観光地という感じです。これらのコンクリート像は浅野祥雲が製作したものだそうです。浅野祥雲と言ってもピンとこないかも知れません。実は私もマツコ・デラックスのレギュラー番組『マツコ&有吉の怒り新党』(2015/4〜)で放送された、「新・3大 浅野祥雲作・コンクリート像の忘れられない表情」で知りました。昭和初期〜50年代まで活躍したコンクリート造形師です。東海地方の各地にコンクリート像を数多く残しています。しかし浅野祥雲の作品は多くの人の目に触れているのにも関わらず、生前は美術界から評価されていませんでした。浅野祥雲自身も平成に入って一部マニアに興味を持たれるまでは、全く無名の存在。浅野祥雲が残したコンクリート像は何時も味のある表情をしていると評されているようですが、あまり観ていて気持ちの良いものはありませんでした。そういう意味では一度観たら忘れられない作品なのかも知れません。番組では愛知県犬山市 桃太郎神社(新・3大その1)・愛知県日進市 岩崎御嶽山(新・3大その2)・愛知県南知多町 中之院(新・3大その3)が紹介され、桃太郎神社と言えば何度か行ったことがあります、そういうえば気持ちの悪い桃太郎があったなど、思い出しませんでした。浅野祥雲は岐阜で土人形という民芸品を制作していました。もともと自由に大きな人形も造りたかった彼は、当時最先端だったコンクリート素材に注目し、鉄筋を組み、コンクリートで肉付けした像を制作。頑丈で雨風に耐えるコンクリートなら後々まで残る作品が造れるということ、浅野祥雲は54年間コンクリート一筋だったとのこと。巨大コンクリート像を数多く制作浅野祥雲の作品は東海地方を中心に200体あるとのこと。ちなみに関ヶ原ウオーランドのコンクリート像は今年の5月ごろに塗り直しが施されていて古臭さが全然ありませんでした。ひよんなことから、浅野祥雲のコンクリート像巡りがクセになりそうです。

